

1 議題 「わくわくりレーたいかい」をしよう

2 議題について

(1) 議題選定までの経過

児童は、2学期になって小学校での初めての運動会を経験した。保育所での運動会よりも大きな校庭で、たくさんの声援の中全力で演技を行うことができた。その中でも、最後の演技「色別対抗リレー」は、クラスの代表だけが出場できる種目であり、チームで力を合わせる姿に大いに盛り上がった。同時に、来年は自分も出場したいと憧れを持った児童が多くいた。また、運動会後に体育の学習で取り組んできた「かけっこ・リレーあそび」では、様々なルールで取り組み、仲間の走っている姿を応援しながら楽しんでいる様子も見られた。このような中、議題箱の提案の中には、自分たちでリレーのルールを考えてリレー大会をしてみたいという意見が入っていた。リレーをすることで、友達を認め合ったり仲間と力を合わせることに喜びを感じたりする姿が見られることが予想される。運動会や体育の学習が終わってすぐであり、活動のイメージが持ちやすいこの時期に話し合いをさせたいと考え、担任と計画委員とで話し合った結果、今回の議題である「わくわくりレーたいかいをしよう」を選定した。

(2) 児童の実態と指導観

本学級は、全員が同じ保育所に通っていたため、友達のことをよく知っている関係である。しかし、保育所の時からいつも一緒にいた友達や、同じ地域に住んでいる友達とは積極的に関わろうとするが、これまで関わりが少ない友達とは、誘い合って遊んだり、力を合わせて何かに取り組んだりすることに消極的な児童もたくさんいる。2学期の初めに行った学級力アンケートでは、「ともだちのよいところを見つけることができる学級だ(なかよしパワー)」の項目で全くあてはまらないと答えた児童が2人いた。そのアンケートの結果を示したところ、2学期はなかよしパワーが高まるように、クラスみんなで頑張っていきたいという意見が出てきた。「なかよし」の意味を考えながら、学級目標の1つである「みんなと仲良くする子」を目指しているところである。

学級での話し合い活動のイメージを持たせるため、1学期に6年生の学級会を見学した。6年生が司会や黒板記録などを行う様子を見て、自分たちも同じように真似をしてみたいという気持ちを持った。2回目の学級会以降、司会や黒板記録を行っており、本時は2巡目になったところである。手を挙げているフロアの児童を指名する、出てきた意見を短冊に書く、賛成・反対の磁石を黒板に貼るなど、計画委員会としての役割を、責任を持って楽しみながらしているところである。しかし、出てきた意見を整理したり、意見が繋がるような声掛けをしたりすることはまだまだ十分ではないので、担任も話し合いに参加し助言を行っているところである。また、フロアの児童には自分の考えを発表することができている児童もいるが、最後まではっきり言うことに自信がない児童もいる。理由を説明する児童も「やったことがないからしてみたい。」「前回だるまさんがころんだをしたから、今回は宝探しがいい。」など、経験から話すことはできているが、友達の意見を受け入れたり、提案理由を意識して意見を言ったりすることはまだまだ難しい。フロアの児童にも助言を行うことで、適切に集団決定できるよう方向づけているところである。集団決定の経験を積ませることで、自分たちの生活をよりよくしているという実感を持てるようにしたい。

指導にあたっては、まず、事前に体育の授業やフレンズの時間を利用して、いろいろなリレーを実際に行ってみることで、活動のイメージを持つことができるようにする。実際にやってみる中でどんなリレーだと仲良くできるか考えることができるようにしたい。本時の話し合いで決まったリレ

一のチーム分けは、担任が行うことを伝えておく。力の差をなるべく同じにすることと、関わりが少ない児童が同じチームになるようにすることも伝える。与えられた条件の中でもっとなかよくなる工夫を考えたり、決まったことを実施したりすることを通して、児童の交流の幅が広がっていくことを期待している。また、事前に「なかよし」とはどういう姿かアンケートをとり、『友達の頑張っている姿を見つける。』『負けても友達を責めない。』など、児童にとっての「なかよし」の具体的なイメージをクラス全員で共通理解できるようにする。共有できた「なかよし」のイメージを可視化することで、集団決定する拠り所となるようにしたい。柱2で仲良くなるための工夫を考える際は、どんな場面で、誰と、どのように仲良くなるのか明確にすることで、仲良くなる姿が具体的にイメージできるようにしたい。計画委員会の動きでは、出てきた意見を短い言葉で素早く短冊にまとめることは、児童にとってはまだまだ難しい。短冊にまとめる、整理して短冊を黒板に並べるなどの役割を担当が行うことで、わかりやすく話し合いをすすめることができるようにしたい。本時の議題は「なかよくなる」ことがキーワードになる。提案理由を意識した発言が見られた際は、終末の教師の話などで称賛することで価値付けを行っていきたい。

### 3 評価の観点・規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活に ついての知識・理解
自分の考えを持って進んで話し合いに参加したり、決まったことに意欲的に取り組もうとしてしている。	提案理由を意識しながら自分の考えを最後まではっきり伝えている。	話し合い活動の準備の仕方や基本的な進め方を理解している。

### 4 活動の経過

	月 日 (曜日)	活動の場	活動の主体	活動の内容
事前	9月21日 (水)	休憩時間	計画委員会	議題の選定。提案理由をまとめる。
	9月23日 (金)	休憩時間	計画委員会	役割分担の決定。話し合いの計画。
	9月26日 (月) ~ 9月28日 (水)	帰りの会	全員	議題と提案理由を知らせる。あわせて各自が「なかよし」についてのイメージを持つ。学級会ノートに自分の考えを書く。
	9月29日 (木)	休憩時間	計画委員会	学級全体の意見をまとめる。
	9月30日 (金)	帰りの会	計画委員会	まとめた意見の中から話し合いを進めることを知らせる。
	10月 3日 (月)	休憩時間	計画委員会	話し合いの流れの最終確認をする。
	本時	10月 3日 (月)	学級活動	全員
事後	10月 4日 (火)	休憩時間	全員	役割分担
	10月 5日 (水) ~	休憩時間	全員	準備 練習
	10月18日 (火)	学級活動 帰りの会	全員	「わくわくりレーたいかい」 振り返り

5 本時のねらい

- ・みんながなかよくなるということを意識しながら自分の意見を最後まではっきり伝え、話し合いに参加することができる。
- ・学級のみんがもっとなかよくなれるリレーの内容やその工夫の決め方を理解することができる。

6 本時の活動計画

第6回 学級会 個人ノート

名前 ( )

議題 「わくわくりレーたいかい」をしよう 10月3日(月)4校時			
提案理由	1年1組では、2学期からなかよしパワーを高めていこうと頑張っています。「わくわくりレーたいかい」をすることで、みんながもっとなかよくなり、「だれとでもなかよくする子」にさらに近づくことができると思ったので提案しました。		提案者
話し合いのめあて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを最後まではっきりと言おう</li> <li>・「わくわくりレーたいかい」ですることと工夫をきめよう</li> </ul>		
決まっていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：10月18日(火)5校時</li> <li>・場所：体育館</li> <li>・担任がリレーのチームを決める。</li> <li>・どんなリレーをするか決める。</li> </ul>		
役割	しかい	こくばん	こくばん
	しかい	こくばん	
話し合いの順序			
1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由やめあての確認 5 話し合い 6 決まったことの発表 7 先生の話 8 終わりの言葉			
時間	話し合うこと	自分の考え・理由	
15分	柱1(15分) どんなリレーをするか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おりかえしリレー</li> <li>・ボールはこびりレー</li> <li>・ジグザグリレー</li> <li>・障害物リレー</li> </ul>	
20分	柱2(20分) みんながもっとなかよくなるリレー大会にするために、どんな工夫やルールにするか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・負けても怒らない。勝っても自慢しない。</li> <li>・作戦会議をする。</li> <li>・いいところを発表する。</li> <li>・拍手をする。</li> <li>・負けても友達を責めない。</li> <li>・応援する。</li> <li>・休憩時間に練習をする。</li> </ul>	

## 7 教師の指導計画

話し合いの順序	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
1 はじめの言葉 2 計画委員会の紹介 3 議題の確認 4 提案理由やめあての確認 5 決まっていること 話し合い ① どんなりレーをするか ② みんながなかよくなるリレー大会にするために、どんな工夫やルールにするか 6 決まったことの発表 7 先生の話 8 終わりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな声で言えるように事前に指導をする。</li> <li>クラスみんなで議題を読み上げ、確認をする。</li> <li>話し合いのキーワードが「なかよくなる」であることを確認する。</li> <li>事前にアンケートをとった「なかよし」のイメージを可視化したものを確認することで具体的な姿をイメージできるようにする。</li> <li>時間内に話し合いができるよう、柱1、柱2の終了時刻をそれぞれ表示し見通しを持たせる。</li> <li>司会グループが見やすい位置に時計を準備しておく。</li> <li>柱1は「くらべ合う」から始める。</li> <li>まとめる言葉の話形を提示しその言葉を使って意見をまとめるようにする。</li> <li>賛成・反対の数で決めるのではなく、提案理由に沿っているかどうかで集団決定できるよう助言する。</li> <li>柱2では、出た意見を教師が板書・整理することで、話し合いをまとめていけるようにしたい。</li> <li>どんな場面で、誰と、どのように仲良くなるのか明確にすることで、仲良くなる姿が具体的にイメージできるようにしていく。</li> <li>提案理由を意識した発言や、集団決定するための建設的な発言をした児童を紹介し、事後の活動や今後の話し合い活動に意欲的に取り組めるようにする。</li> </ul>	<p><b>【思考・判断・実践】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見を最後まではっきり伝え、話し合いに参加することができたか。</li> </ul> <p>&lt;観察・個人ノート&gt;</p> <p><b>【知識・理解】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学級のみながなかよくなれるリレーの内容やその工夫の決め方を理解することができる。</li> </ul> <p>&lt;観察・計画委員会活動計画&gt;</p>

## 8 事後指導

- 準備や活動の中で、児童が責任を持って取り組む姿や協力して取り組む姿を見つけ、賞賛していく。学級目標を意識した行動であることを認め、なかよしパワーが高まったことを視覚的に示すようにしたい。
- 活動後振り返りを行い、今回の活動の達成感を共有するとともに、今後の活動に向けての意欲につなげる。